

標準様式例6-2 (工事)

(第1回、最終) 契約変更の内容

変更契約年月日	令和7年12月10日
契約業者	金杉建設株式会社
契約業者の住所	埼玉県春日部市南一丁目6番9号
工事の名称	R6江戸川右岸八子新田地先上段盛土他工事
工事場所	埼玉県吉川市八子新田地先
工事種別	一般土木工事
工事概要	施工延長L=約330m 河川土工 約45,000m ³ コンクリートブロック積工 約500m ² 植 生工 約20,000m ² 地盤改良工 1式 擁壁護岸工 1式 付帯道路工 約1,400m ² 排水構造物工 約300m 付帯道路施設工 1式 導水路・配水管敷設工 1式 水道管敷設工 1式 消火栓設置工 1式 給水管布設工 1式 構造物撤去工 1式 仮設工 1式
工期(自)	令和7年6月26日
工期(至)	令和8年2月27日
変更前の契約金額	309,100,000 円(税込み)
変更金額	+5,390,000 円(税込み)
変更後の契約金額	314,490,000 円(税込み)
変更理由	別紙のとおり

(別紙)

1.河川土工

1)【八子新田上段盛土】

設計図書の照査の結果、盛土工（ICT）を減工する。

2)【三郷松伏線法尻市道取付】

①現地調査の結果、盛土工(ICT)を削除するとともに、盛土工を数量精査（減）、法面整形工(ICT)を数量精査（減）する。

3)【川藤野田線脇擁壁】

詳細設計の見直しに伴い、盛土工を減工し、盛土工（ICT）、法面整形工（ICT）を増工する。

2.地盤改良工

1)【川藤野田線脇擁壁】

①詳細設計の見直しに伴い、安定処理工を増工する、

②当初予定していた中層混合処理範囲について、施工範囲を増工するとともに、配合試験の結果、固化材と配合量に変更が生じたため、数量精査（増）する。

③ICT活用に伴い、中層混合処理工を削除し、中層混合処理工（ICT）を追加する。

3.法覆護岸工

1)【川藤野田線脇擁壁】

詳細設計の見直しに伴い、コンクリートブロック工を増工する。

4.擁壁護岸工

1)【三郷松伏線法尻市道取付】

①ICT活用に伴い、作業土工を減工し、作業土工（ICT）を追加する。

②プレキャストの活用に伴い場所打ち擁壁工を減工し、プレキャスト擁壁工を追加する。

5.付帯道路工

1)【三郷松伏線法尻市道取付】

①ICT活用に伴い、アスファルト舗装工を減工し、アスファルト舗装工（ICT）を追加する。

②現地調査の結果、施工範囲を変更したことにより縁石工、区画線工を増工、地覆工を減工する。

2)【川藤野田線脇擁壁】

①詳細設計の見直しに伴い、アスファルト舗装工を減工する。

②道路管理者との協議の結果、橋脚下を砕石舗装するため、アスファルト舗装工を増工する。

3)【導水管敷設替え】

道路管理者と協議の結果、舗装構成を変更したため、減工する。

4)【消火栓設置工】

防災管理者との協議の結果、消火栓を設置するため、区画線工を追加する。

6.排水構造物工

1)【三郷松伏線法尻市道取付】

現地調査の結果、施工内容を変更したことにより、側溝工を減工し、集水桝・マンホール工を増工する。

2)【導水管敷設替え】

詳細設計の見直しに伴い、側溝工を増工する。

7.付帯道路施設工

1)【三郷松伏線法尻市道取付】

道路管理者との協議の結果、夜間の安全確保のため、道路付属物を追加する。

8.導水路・配水管敷設工

設計図書の照査の結果、導水路敷設工を増工する。

9.消火栓設置工

防災管理者との協議の結果、作業土工、消火栓設置工を追加する。

10.給水管布設工【八子新田上段盛土】

現地調査の結果、既設給水管の移設が必要になったため、作業土工、給水管布設工、給水管防護工を追加する。

11.構造物撤去工

1)【八子新田上段盛土】

現地調査の結果、既設給水管の撤去が必要になったため、給水管撤去工を追加する。

2)【三郷松伏線法尻市道取付】

現地調査の結果、排水構造物撤去工を追加し、構造物取壊し工を増工し、防護柵撤去工を削除する。

3)【川藤野田線脇擁壁】

道路管理者との協議の結果、金網の撤去を行うため、防護柵撤去工を追加し、構造物取壊し工を増工する。

4)【導水管敷設替え】

①設計図書の照査の結果、構造物取壊し工を追加する。

②詳細設計の見直しに伴い、排水構造物撤去工を増工する。

5) 詳細設計の見直しに伴い、運搬処理工を減工する。

12.仮設工

1)【三郷松伏線法尻市道取付】

現地調査の結果、施工範囲を変更したことにより、交通管理工を増工する。

2)【導水管敷設替え】

詳細設計の見直しに伴い、仮排水工を追加する。

13.共通仮設費

1) 詳細設計の見直しに伴い、準備費を増工する。

2) 現地調査の結果、調査対象家屋に変更が生じたため、事業損失防止施設費を削除する。

3) オンライン調査、施工状況モニタリング調査、施工歩掛実態調査（試行）の対象となったため、技術管理費を増工する。

4) 中層混合処理（ICT）、路盤工（ICT）の追加に伴い、システム初期費（ICT）に変更が生じたため、技術管理費を増工する。

14.指定部分

三郷松伏線法尻市道指定部分の期日を4月6日延長し、1月30日までとする。

15.工期

工期は元設計の通りとする。

標準様式例6-2 (工事)

(第3回最終) 契約変更の内容

変更契約年月日	令和8年3月24日
契約業者	金杉建設株式会社
契約業者の住所	埼玉県春日部市南一丁目6番9号
工事の名称	R6江戸川右岸八子新田地先上段盛土他工事
工事場所	埼玉県吉川市八子新田地先
工事種別	一般土木工事
工事概要	施工延長L=約330m 河川土工 約45,000m ³ コンクリートブロック積工 約500m ² 植 生工 約20,000m ² 地盤改良工 1式 擁壁護岸工 1式 付帯道路工 約1,400m ² 排水構造物工 約300m 付帯道路施設工 1式 導水路・配水管敷設工 1式 水道管敷設工 1式 消火栓設置工 1式 給水管布設工 1式 構造物撤去工 1式 仮設工 1式
工期(自)	令和7年6月26日
工期(至)	令和8年3月27日
変更前の契約金額	314,490,000 円(税込み)
変更金額	+35,970,000 円(税込み)
変更後の契約金額	350,460,000 円(税込み)
変更理由	別紙のとおり

(別紙)

1.河川土工

【八子新田】

現地精査の結果、数量に差異があったため、盛土工、盛土工 (ICT)、法面整形工 (ICT)を減工する。

【川藤野田線】

現地精査の結果、数量に差異があったため、盛土工を減工し、盛土工 (ICT)、法面整形工 (ICT)を増工する。

2.地盤改良工

【川藤野田線】

現地精査の結果、数量に差異があったため、表層安定処理工を減工する。

3.法覆護岸工

【八子新田】

現地精査の結果、数量に差異があったため、植生工を減工する。

【川藤野田線】

①現地精査の結果、数量に差異があったため、コンクリートブロック工を減工する。

②プレキャスト製品についての協議があったため、現場打基礎コンクリートを削除し、プレキャスト基礎ブロックを追加する。

4.擁壁護岸工

【八子新田】

①作業土工 (床掘り) について ICT 活用の協議があったため、作業土工を減工し、作業土工 (ICT)を追加する。

②プレキャスト製品についての協議があったため、場所打擁壁工を削除し、プレキャスト擁壁工を追加する。

5.付帯道路工

【八子新田】

アスファルト舗装工について ICT 活用の協議があったため、アスファルト舗装工を減工し、アスファルト舗装工 (ICT)を追加する。

【川藤野田線】

①現地精査の結果、数量に差異があったため、アスファルト舗装工を増工する。

②アスファルト舗装工について ICT 活用の協議があったため、アスファルト舗装工を減工し、アスファルト舗装工 (ICT)を追加する。

【導水管敷設】

①関係機関調整の結果、舗装構成を仮復旧にするため、アスファルト舗装工を増工する。

②現地調査の結果、舗装版破砕面積が増になったことに伴い、復旧面積を増やすため、アスファルト舗装工、区画線工を増工する。

6.排水構造物工

【川藤野田線】

現地精査の結果、数量に差異があったため、側溝工、集水柵・マンホール工を増工する。

【三郷松伏線法尻市道】(指定部分外)

集水柵補修を追加する。

【導水管敷設】

現地精査の結果、数量に差異があったため、側溝工を増工する。

7.付属物設置工

①現地調査の結果、支障となる柵を撤去後復旧するため、防止柵工を追加する。

②現地の安全確保のため、立入防止柵を設置する必要があったため、防止柵工を追加する。

8.導水路・配水管敷設工

①現地精査の結果、数量に差異があったため、作業土工を減工し、導水路敷設工を増工する。

②現地調査の結果、支障物があり、対応する必要があったため、導水路敷設工、固結工を増工する。

9.水道管敷設工

①関係機関調整の結果、舗装構成を仮復旧にするため、作業土工を増工する。

②現地精査の結果、数量に差異があったため、水道管敷設工を減工する。

10.消火栓設置工

現地精査の結果、数量に差異があったため、消火栓設置工を増工する。

11.給水管布設工【八子新田上段盛土】

現地精査の結果、数量に差異があったため、作業土工、給水管布設工を減工する。

12.構造物撤去工

【全体】

現地精査の結果、数量に差異があったため、運搬処理工を減工する。

【八子新田】

①現地調査の結果、再利用予定の材料が一部再利用不可であったため、構造物取壊し工を減工する。

②現地精査の結果、数量に差異があったため、給水管撤去工を増工する。

【川藤野田線】

①現地精査の結果、数量に差異があったため、構造物取壊し工を減工し、防護柵撤去工、排水構造物撤去工を増工する。

②現地調査の結果、支障物があり、現場発生品として岩名資材置場、流山 SY に運搬するため、現場発生品運搬を追加する。

【三郷松伏線法尻市道】(指定部分外)

集水柵を補修したため、構造物取壊し工を増工する。

【導水管敷設】

現地調査の結果、支障物があったため、防護柵撤去工、構造物取り壊し工を増工し、排水構造物撤去工を減工する。

13.仮設工

【全体】

①現地調査の結果、施工箇所、土取場で地耐力不足が確認されたため、工事用道路工を増工する。

②現地調査の結果、施工箇所、土取場での安全確保のため、交通管理工を増工する。

【川藤野田線】

現地精査の結果、数量に差異があったため、仮水路工を増工する。

【導水管敷設】

①現地精査の結果、数量に差異があったため、路面覆工、土留・仮締切工を増工し、仮排水工を減工する。

②現地調査の結果、支障物があり、対応するため、土留・仮締切工を増工する。

14.共通仮設費

【全体】

- ①現地調査の結果、施工箇所、土取場での地耐力不足が確認され、工事用道路工を増工したことに伴い、仮設材運搬費を増工する。
- ②現地精査の結果、数量に差異があったため、準備費（表土運搬処理）を増工する。
- ③施工箇所周辺の安全管理のため、技術管理費（観測井戸）を増工する。
- ④施工業者より協議があったため、技術管理費（3次元起工測量、データ作成、BIM/CIM、遠隔臨場、図面変換費）を増工する。
- ⑤施工業者より協議があったため、営繕費（快適トイレ）を追加する。

15.工期

工期は第2回変更のとおりとする。

以上